

災害発生時の対応

この災害対策マニュアルは、下記の災害が発生した場合に備えて、事前の取り決めや緊急時対応を定めたものです。

当塾では、主な災害および付随するリスクとして、以下の行動指針を定めました。まずは「命」優先とします。

1. 地震

地震発生

震度5弱以上の地震が発生した場合、授業は中止いたします。

避難が必要な時は避難場所に避難します。避難予想場所は2か所です。第一避難場所へ避難することが道路事情や時間的に困難な場合は第二避難場所へ向かいます。

- ① 豊岡市役所 稽古堂（第1避難場所）
- ② 豊岡小学校（第2避難場所）

安全確認後、お子様を迎えに来てください。

生徒の安全確保の手順

＜的確な指示、子どもへの対応、負傷者の確認、二次災害防止＞

震度5弱以上の場合

【初期微動】

動揺からパニックが起こることもあるので教師は堂々と大声で指示する

【本震発生】

歩行困難な揺れが約1分間続く

この間は机等を盾に備品の転倒、飛散する窓ガラスから身を守る。

頭を本やカバンで保護する。

【本震収束】

本震収束後、余震発生前に、状況を確認しいったん外へ避難する。

生徒の状況を確認後に避難場所へ移動する。

施設内の避難経路は、ガラスの破片や倒壊した備品等が散乱し危険であるからけがをしないよう注意する。

教師の行動

- ・ ドア、窓を開け避難口を確保する
- ・ 靴をはかせる
- ・ スマホボックスを持つ
- ・ 落下、転倒物から身を守らせる
- ・ 緊急放送があればその指示に従わせる
- ・ 「周囲にけがをした者はいないか」
- ・ 負傷者等の有無の確認と救護をする
- ・ （「かばんや座布団で頭を保護しろ」）
- ・ 「〇〇君から順番にヘルメットをかぶって表へ出る」
- ・ 「走らない」「しゃべらない」「押さない」

生徒の行動

- ・ 教師の指示に従い、各自の勝手な行動を禁ずる
- ・ 慌てて外に飛び出さない
- ・ 机の下にもぐり、落下物から身を守る
- ・ 勝手な言動を慎む
- ・ 本震後、ただちにかばん、座布団等で頭部を保護する
- ・ ヘルメットを着用する
- ・ 教員の指示に従い、特に「走らない」「しゃべらない」「押さない」を守る
- ・ 避難途中で教室等へ戻らない

・子どもの引き取りがない場合も予想されるので、その際は塾が保護する

※塾にも水や食料、災害時用トイレ、アルミブランケットなどを準備しております。保護者様の安全を確保されてからお子様をお迎えに来てください。

【避難後の安全確保】

・生徒の安否の確認、負傷者確認と応急処置、子どもの不安に対応、負傷者について関係機関へ連絡・支援要請、負傷者について保護者へ連絡

家族で以下の点、確認ください。

- ① 家族のお互いへの連絡方法（塾以外の場所にいるとき）
- ② 通塾経路
- ③ 自宅へもどることが困難な場合の合流場所

2. 悪天候による警報関係について

特別警報発令時

- ・豊岡市に特別警報が発令されている場合、休校とする
- ・自習不可

警報発令時

- ・通常通り授業を行うが、様々な地域の方がいらっしゃる為、【出席・オンライン出席・欠席】は保護者判断とする
- ・天候やその他の事情により休校措置を取る場合がある

ComiruやLINE等で休校などのお知らせを行いますのでご確認ください。